

令和３年度 循環型社会推進基金活用事業の進捗状況について

(単位：千円)

資料３－①	令和４年２月４日
第２回木津川市廃棄物減量等推進審議会	

令和４年１月２４日現在

整理 番号	事業名	活動指標	指標	令和３年度 充当額見込額	実施内容
			実績		
1-①	地域学習会(出前講座)	説明会等の開催回数	24回 ----- 1回	48	令和３年度も新型コロナウイルス感染症予防のため各種団体の行事等開催が自粛されたため、「認知症カフェ」への出前講座のみの開催となりました。
1-②	市民提案型ごみ減量活動等補助金	市民提案型ごみ減量活動等 補助金の交付件数	7件 ----- 5件	2,700	先進的ごみ減量モデル事業に５件の申請があり、審議会の審査結果を踏まえ、補助金交付決定を行いました。
1-③	不法投棄対策	不法投棄等監視カメラの貸 出件数	12件 ----- 5件	2,028	地域からの設置要望に対応するため、太陽光発電駆動式監視カメラシステムを５地域（高田、市坂、岡崎、椿井、仏生寺）へ貸与しました。現在、新たに３地域で設置を検討されています。
1-④	情報発信事業	「MOTTAINAI便り」の市広 報紙への折込回数	6回 ----- 6回	1,183	ごみの減量や再資源化に関する情報を発信する情報紙「MOTTAINAI便り」を作成し、偶数月の市広報紙へ折り込んで配布しました。
1-⑤	市民活動の表彰制度	表彰事例の数	5件 ----- 件	—	「わが家のごみ減量アイデア大賞」として、家庭で取り組める身近な減量アイデアを募集しました。審議会において選考いただき、個人・事業者を「優れたアイデア」として表彰します。
1-⑥	環境保全指導員	環境保全指導員の配置	— ----- 1名	2,259	環境省の環境カウンセラーに登録されている者を会計年度任用職員として任用し、小学校の環境学習支援をはじめとする財源活用事業を推進しています。
2-①	リサイクル活動の拠点の確保	環境団体の情報発信	12回 ----- 4回	—	新型コロナウイルス感染症予防のため、不特定多数が集まる事業の実施は見送り、チラシの作成（３回）及び「しめ縄作り教室」を開催しました。
2-②	古紙集団回収事業の充実	可燃ごみ排出原単位に含ま れる雑がみの重量	22.9g/人・日 ----- g/人・日	13,014	古紙集団回収団体（１６５団体）を対象に、実績に応じた補助金を交付予定です。
2-③	生ごみ処理容器の普及促進	ダンボールコンポスト講習 会の参加者数	380人 ----- 8人	477	市広報（７～１１月号）を通じて希望者にダンボールコンポストを配布し、７月に講習会を実施しました。
2-④	使用済み食用油再資源化事業	使用済み食用油回収拠点の 箇所数	10箇所 ----- 5箇所	50	市内５か所(市役所本庁舎及び両支所、市内２か所のマンション)に設置しています。令和３年１２月末時点で、６６０kgを回収しました。（売捌き額：20,288円）
2-⑤	ごみ分別アプリ配信事業	ごみ分別アプリの利用者数	9,000人 ----- 12,736人	2,143	日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語に対応しています。スタンプラリーイベント機能・ごみ減量家計簿「ごみチャレ」機能を追加し、イベントで活用しました。
2-⑥	防鳥ネット無償貸与事業		— ----- 20件	—	地域からの申請に基づき、２０地域２２拠点へ大１６枚、小６枚貸与しました。
2-⑦	ごみ集積拠点設置等補助金		— ----- 3件	1,080	地域からの申請に基づき、３地域３拠点へ補助金を交付しました。（新規設置３件）
2-⑧	剪定枝粉碎機貸与事業	剪定枝粉碎機の貸与	— ----- 21件	—	ご家庭で剪定された枝木等を粉碎し、庭の雑草防止剤等としての有効利用を促進するために、２１人へ剪定枝粉碎機を貸与しました。
3-①	生ごみの再資源化事業	給食堆肥の市内消費量	20.0t ----- 16.3t	153	小中学校等において学校給食の調理残渣を含む堆肥を利用いただき、あわせて市主催のクールチョイス事業を通じて、３kgの堆肥約１００袋を無料配布しました。
3-②	学校等における環境学習への支援	環境学習の実施校数(累積)	9校 ----- 7校	—	学校の環境学習へ職員を派遣し、７小学校（相楽小、相楽台小、城山台小、南加茂台小、共仁小、木津南中、木津高）の６３クラスに、ごみ処理や資源循環について説明しました。
モデル 事業	自治体マイナポイントモデル事業		4,000人 ----- 58人	20,150	国が推進するマイナポイント事業として、ウォーキングしながらごみ拾い行う「まちピカウォーキング」（参加者３７名）、排出する可燃ごみの重さをアプリ内で記録しごみ減量を目指していただく「ごみチャレ」（参加者２１名）の２事業を実施しました。

※ １． 環境意識啓発 ２． 家庭系可燃ごみの減量等 ３． 政策統合

※予算額には、環境保全指導員以外の職員人件費、前年度以前に購入した機器等の費用は含みません。